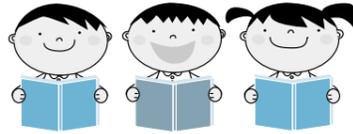


# 図書室だより



## 『つくおき』 nozomi : 著 (一般図書)

週末に作り置きして、平日がラクになる！1週間分の作り置きレシピを、買い物から料理の流れまでを紹介する。

本書では、著者の職業はSE(システム・エンジニア)で、多忙な日々を過ごしているにもかかわらず、ほぼ毎日自炊とお弁当作りをこなしているとブログ(SNS)で話題になっている。特別な道具や技術は使わずに、まとめ作りはもちろん、単品で美味しいレシピが豊富に掲載されており、目から鱗の平行調理のコツも紹介されています。現時点において、共働き世帯が増加傾向にある中、忙しくても家庭でご飯を食べたい…と悩んでいる方におすすめの一冊です。



## 『ざっそうの名前』長尾 玲子:作 (児童図書)

おじいちゃんの家遊びに行った太郎は、庭できれいな花を見つけた時、おじいちゃんにその花の名前を教えてくださいました。その花は、誰かが種をまいたわけでもないのに、自然に生えてきた雑草の花でした。本書では、おじいちゃんは太郎に「どの草にも、みんな名前があるんだよ」と、庭に生えている雑草の名前を一つずつ教えてくださいました。雑草の特徴を見事に捉えた絵本に仕上がっております。一般的に雑草は、農業や草刈りを行っている方にとって非常に厄介な存在ではありますが、この絵本には、雑草を少し違った視点で見ることで、普段抱えている雑草のイメージが少しでも変わると思います。



## リサイクル図書のご案内

図書室では、目玉コーナーとして「新着本コーナー」と「リサイクル図書コーナー」があります。

中でも「リサイクル図書コーナー」には、ご家庭などで不要となった本を列べており、必要とされて方がご自由にお持ち帰りできるコーナーとなっております。(お持ち帰りの際は、図書室スタッフまで申し出てください。)

図書室をご利用の際は、是非一度ご覧ください。掘り出し物があるかも？

また、ご家庭などで不要となった本を随時受け付けておりますので、図書室カウンターまでご持参ください。(汚れ・破損などがある本は受付できない場合がございますので、その際はご了承ください。)

特に「絵本」および「料理レシピ本」が不足しておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



### 図書室の開室時間について

開室時間は午前8時30分から午後5時15分となります。

### 11月の休室日のご案内

7日(火)・14日(火)  
21日(火)・28日(火)

※図書室では、利用者から本のリクエストを受け付けています。また、ご家庭で不要となった本をリサイクル図書などとして活用しています。詳しくはスタッフまでお尋ねください。

問 広野町図書室 ☎0240-27-3211 e-mail: hirono-library@abelia.ocn.ne.jp

# INFORMATION ~まちからのお知らせ~

## 広野町ふるさと創生大学通信 vol. 3

### ●「第3回 広野町ふるさと創生大学」を開催しました。

8月号から開始させていただいたこの「広野町ふるさと創生大学通信」。

今回は9月7日に開催した第3回の講義風景を掲載いたします。

第3回講義は、講談師 田辺 鶴瑛 先生による「ほっとけ心のアップレ介護」と題して開催されました。

今回は創作講談「認知症カフェ」を行い、その後、講師自身の介護経験紹介と認知症介護についてのアドバイスなども含めた講義でした。



第3回講義の様子

### ●「第2回 広野町ふるさと創生大学」受講生から感想が寄せられましたので何件かご紹介いたします。

講義：「新しい広場を作る  
—福島自立は可能か—」  
講師：劇作家・演出家 ふたば教育復興応援団 平田 オリザ 先生

・ふたば未来学園高校に平田オリザ先生(日本国内だけでなく世界中で活躍されている)のような立派な先生が外部講師として勤務されているのはすばらしい事だと思った。

- ・人づくりの道しるべ、リーダー育成の必要性。
- ・これからの町づくりは地産地消に付加価値をつけることが大事。
- ・物に付加価値ということは聞いたことがあったが、人にも…付加価値のある人づくりが大切だとわかった。
- ・いじめや殺人の背景に社会が原因していて、ひきこもりが多い…新しい広場を作ることが大切。
- ・町づくりの失敗は社会的弱者を生み出すこと…排除の論理からは何も得られないことがわかった。
- ・広野町にもいろいろな会社の作業員の方々が生活しています。旧来の広野町生まれの人以外の人も含めて町と一緒に暮らして、広野町の人と考えることも大切であると考えさせられました。
- ・社会的弱者やその他の人々の居場所を作ることが大事。
- ・芸術を通して出会わなかった人を出会わせることができる。
- ・人材の育成には、幼少期からの高度な芸術への参加体験が必要であり、行政として、文化の自己決定能力を高める施策を進める必要があるという考えに感銘した。
- ・「誰かが誰かを知っている」緩やかなネットワーク社会へ。誰かにつながっていること…人間を孤立させない。
- ・チームで戦う時、少人数でも勝てると思っていたけど、色々な人がいないと勝てないことがわかった。
- ・人は経済にも集まるが、主に、文化に集まるということがわかった。
- ・子育て、教育、環境が充実していないと町の発展はないということがわかった。
- ・子供のうちから良い物を与えた方が良い…良い物を与え続けると良くない物が分かってくるから。
- ・大学入試について…いろいろな入試があることには驚いた。
- ・これからの時代、勉強だけでは生きていけない…受験勉強だけでは足りないことがわかった。

問 広野町生涯学習課(公民館内)  
☎0240-27-3244